

「住んでよかった」「住み続けたい」と思っただけのまちづくりを進めていきます



▲市長・副市長・教育長・部長職職員

6つの重点的な取組と令和7年度の主要な取組

子どもにやさしいまち

- 「ほっとルームレター(ミニレター)」の拡充(市内全小中学校での実施・対象の拡大)
- ヤングケアラー・コーディネーターの配置、アンケート調査の実施
- 入所相談などに関するオンライン相談窓口の開設
- 子育て支援ショートステイ事業の拡充
- 病児・病後児保育施設1カ所の定員数拡充
- 保育所での「とうきょうすくわくプログラム」の推進
- ひばりが丘保育園の大規模改修に向けた設計
- 学童クラブ過密化の解消対策
 - 学校の特別教室などを使用するタイムシェアを新たに市内4校で実施
 - 柳沢小学校校庭に(仮称)田無柳沢学童クラブ設置(令和8年1月開設予定)
- 放課後子供教室の充実に向けた検討委員会の設置

- 児童館1館の夜間開館日拡充
- 田無柳沢児童センターを中高生特化型児童館として活用するための改修設計
- 特別支援学級の開設準備(令和8年度開設予定)
- 保谷小学校の校舎などの耐力度調査
- 小中学校の高架水槽などの調査
- 親子給食調理校8校の空調設備の設置に向けた実施設計
- 不登校の児童・生徒を対象にした給食費相当額の支援
- 田無第三中学校の建替に向けた検討
- GIGAスクール構想におけるタブレット端末の更新とネットワーク回線の改善
- 読書環境の充実に向けた市民団体や大学生ボランティアとの協働によるアウトリーチ型連携事業の推進
- 図書館施設の老朽化対策工事に yönelik 実施設計

健康で元気なまち

- 「(仮称)スマートウェルネスシティ推進指針」の作成に着手
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組の推進
- 認知症支援「チームオレンジ」の活動推進
- 認知症のある人の社会参加推進事業の実施
- 移動支援事業や日中一時支援事業の充実

- 障害のある子どもの日常生活用具の給付に係る所得要件を撤廃
- ひきこもり地域支援センター事業の展開
- 産後ケア事業拡充
- がん患者へのウィッグや胸部補正具などの購入費用などの助成

集える場とつながりのあるまち

- ひばりが丘総合運動場のテニスコート全面改修工事
- 南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」の空調設備などの更新工事

- 西東京市スポーツセンターの大規模改修に向けた設計など
- 下野谷遺跡史跡指定10周年シンポジウムなどの開催
- 公民館などでの学生ボランティアによる講座やイベントの開催

安心・安全で快適なまち

- 住環境や防災性の向上のための用途地域などの見直し
- 田無駅南口交通広場の整備や市道118号線までの街路部分の整備に向けた測量や調査・設計など
- 向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連周辺道路整備
- 西東京都市計画道路3・5・10号線の測量などの調査・設計
- 市南部の交通空白地域の新たな移動手段の検討に向けた実証運行を実施
- 保谷駅ホームドア設置(令和8年3月予定)
- 未利用市有地や都市計画道路の残地などを活用したベンチの設置
- 下保谷四丁目特別緑地保全地区の環境整備
- 公園改修計画に基づく公園遊具などの老朽化対策の実施
- (仮称)ひばりが丘北四丁目公園の整備に向けた実施設計など
- ボール遊びができる広場(南町遊水池)の整備

- 下水道プランの改定
- 雨水溢水対策(新町五丁目地内、北原町一丁目地内、向台町一丁目地内など)
- 第5分団詰所の建替に向けた設計など
- 庁舎などの非常用自家発電機の改修
- 庁舎エレベーターへの防災キャビネットの設置
- 避難所となる学校へのマンホールトイレの設置
- ガバメントクラウドファンディングを活用したトイレカーの導入
- 在宅避難対策となる携帯トイレを全世帯へ配布
- 商店会に対する防犯カメラ設置助成の継続と維持管理費助成制度の創設
- 防犯活動団体への防犯カメラの設置補助を実施
- 闇バイト対策(住宅などの防犯対策に対する助成制度の創設)

市民とともに発展するまち

- 市民協働推進センター「ゆめこらぼ」コーディネート機能の充実
- 保谷庁舎敷地の活用に向けた事業者の公募・選定
- 旧ひばりが丘中学校跡地活用の検討

- 商店街活性化推進事業補助金の補助率の拡充の継続
- ビニールハウスの整備などに要する費用の一部を補助する制度の創設

行財政基盤の強化を絶えず目指すまち

- 市民サービスの向上と業務の効率化
 - 持続可能な自治体経営の確立に向けた取組(公共施設などの計画的な施設改修・設備更新、公民連携事業の推進やアナログ規制改革、BPRの取組などの推進)
 - DX推進(情報システムの標準化・共通化、公共施設予約管理システムの更新、支払などへのセミセルフレジやキャッシュレス決済の導入、AIなどを活用した相談業務の支援)

- デジタルデバйд対策
- 組織改正(令和7年7月)
- 人材の確保や職員のエンゲージメントの向上による組織の強化
- 教職員の業務負担の軽減(学校給食費の公会計化など)

結びに

今年の市報1月1日号において、若者のグループとまちづくりについて意見交換をさせていただきました。若者たちの「西東京市を好きになってもらいたい」「新しいことにチャレンジしたい」とのひたむきな情熱や想いに触れ、地域の文化や地域の力の大切さを改めて実感するとともに、私自身、大変多くの刺激を受けました。「若者とともに」この想いでまちづくりを進めることが、人と地域を紡ぎ、一人ひとりが幸せを実感し、市民の皆様が笑顔あふれる元気なまちへと発展していくと考えております。次世代に責任を持ってこのまちを引き継ぎ、市民の皆様「住んでよかった」「住み続けたい」と思っただけの西東京市の実現を目指してまいります。未来の素晴らしい西東京市を創るために、全力で市政運営に臨んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西東京市長 池澤 隆史